

## 【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2024年9月13日提出
【計算期間】	第2期中(自 2023年12月16日至 2024年6月15日)
【ファンド名】	SOMPO世界分散ファンド(安定型) <DC年金> SOMPO世界分散ファンド(安定成長型) <DC年金> SOMPO世界分散ファンド(成長型) <DC年金>
【発行者名】	SOMPOアセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小嶋 信弘
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋二丁目2番16号
【事務連絡者氏名】	津田 浩平
【連絡場所】	東京都中央区日本橋二丁目2番16号
【電話番号】	03-5290-3432
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 1【ファンドの運用状況】

## (1)【投資状況】

## SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞

2024年6月28日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	アメリカ	518,419	4.61
親投資信託受益証券	日本	10,620,759	94.47
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）		103,536	0.92
純資産総額		11,242,714	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

## SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞

2024年6月28日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	アメリカ	692,597	6.32
親投資信託受益証券	日本	10,133,300	92.40
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）		140,887	1.28
純資産総額		10,966,784	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

## SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞

2024年6月28日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	アメリカ	1,188,738	10.50
親投資信託受益証券	日本	9,994,235	88.27
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）		139,261	1.23
純資産総額		11,322,234	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

## （参考）SJAMラージキャップ・バリュース・マザーファンド

2024年6月28日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	34,623,277,620	98.34
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）		585,896,842	1.66
純資産総額		35,209,174,462	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

## （参考）SJAMスモールキャップ・マザーファンド

2024年6月28日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	20,230,877,580	96.57
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）		718,256,272	3.43
純資産総額		20,949,133,852	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

（参考）SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

2024年6月28日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	1,265,565,126	67.54
	フランス	82,072,814	4.38
	アイルランド	77,071,319	4.11
	ドイツ	72,784,212	3.88
	デンマーク	57,761,189	3.08
	イギリス	50,715,674	2.71
	スイス	44,447,269	2.37
	オランダ	32,213,284	1.72
	スウェーデン	26,394,319	1.41
	オーストラリア	23,189,527	1.24
	ノルウェー	19,465,022	1.04
	シンガポール	18,965,983	1.01
	カナダ	16,566,787	0.88
	ジャージー	11,850,725	0.63
	フィンランド	10,728,197	0.57
	ベルギー	8,859,334	0.47
スペイン	5,464,843	0.29	
		1,824,115,624	97.35
投資証券	アメリカ	8,483,234	0.45
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）		41,135,421	2.20
純資産総額		1,873,734,279	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

（参考）損保ジャパン日本債券マザーファンド

2024年6月28日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	日本	21,740,714,900	67.76
地方債証券	日本	677,710,000	2.11
特殊債券	日本	836,209,941	2.61
社債券	日本	7,608,504,000	23.71
	フランス	499,478,000	1.56
	イギリス	100,353,000	0.31
		8,208,335,000	25.58

コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		621,463,374	1.94
純資産総額		32,084,433,215	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

(参考) 損保ジャパン外国債券マザーファンド

2024年6月28日現在

資産の種類	地域	時価合計(円)	投資比率(%)
国債証券	アメリカ	814,673,533	46.51
	中国	182,345,199	10.41
	フランス	128,567,924	7.34
	イタリア	122,966,621	7.02
	ドイツ	100,435,162	5.73
	イギリス	90,517,268	5.17
	スペイン	81,628,051	4.66
	ベルギー	31,487,719	1.80
	カナダ	30,734,230	1.75
	オランダ	27,919,007	1.59
	オーストラリア	24,808,588	1.42
	オーストリア	23,161,114	1.32
	シンガポール	20,474,775	1.17
	メキシコ	15,428,437	0.88
	アイルランド	12,812,735	0.73
	フィンランド	11,982,942	0.68
	ポーランド	9,490,492	0.54
	デンマーク	5,389,482	0.31
	スウェーデン	5,271,719	0.30
ノルウェー	3,308,050	0.19	
		1,743,403,048	99.54
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		8,116,038	0.46
純資産総額		1,751,519,086	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

その他資産の投資状況

2024年6月28日現在

資産の種類	建別	地域	時価合計(円)	投資比率(%)
為替予約取引	売建		1,756,227,020	100.27

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

(注3) 為替予約取引の時価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しています。

(参考) 損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド

2024年6月28日現在

資産の種類	地域	時価合計(円)	投資比率(%)
-------	----	---------	---------

国債証券	アメリカ	7,459,450,958	46.48
	中国	1,650,016,362	10.28
	フランス	1,228,165,271	7.65
	イタリア	1,161,170,646	7.24
	ドイツ	1,049,116,243	6.54
	イギリス	809,917,918	5.05
	スペイン	737,952,179	4.60
	カナダ	293,023,427	1.83
	ベルギー	282,521,821	1.76
	オーストラリア	219,192,873	1.37
	オランダ	201,437,603	1.26
	オーストリア	132,517,649	0.83
	メキシコ	120,386,858	0.75
	アイルランド	81,318,219	0.51
	ポーランド	75,923,943	0.47
	マレーシア	65,791,509	0.41
	フィンランド	53,923,241	0.34
	シンガポール	46,519,174	0.29
	デンマーク	41,413,922	0.26
	スウェーデン	31,212,724	0.19
ノルウェー	29,110,845	0.18	
		15,770,083,385	98.26
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）		279,166,746	1.74
純資産総額		16,049,250,131	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

（参考）損保ジャパンJ-REITマザーファンド

2024年6月28日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資証券	日本	785,220,000	98.44
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）		12,443,934	1.56
純資産総額		797,663,934	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

（2）【運用実績】

【純資産の推移】

SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞

直近日（2024年6月末）、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（円）		1口当たりの純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）

第1計算期間末	(2023年12月15日)	10,449,187	10,449,187	1.0271	1.0271
	2023年 6月末日	10,168,487		1.0168	
	7月末日	10,148,877		1.0149	
	8月末日	10,332,391		1.0183	
	9月末日	10,174,406		1.0023	
	10月末日	10,057,660		0.9904	
	11月末日	10,392,197		1.0215	
	12月末日	10,533,515		1.0334	
	2024年 1月末日	10,797,122		1.0389	
	2月末日	10,843,893		1.0415	
	3月末日	11,027,196		1.0572	
	4月末日	10,972,748		1.0516	
	5月末日	11,007,762		1.0476	
	6月末日	11,242,714		1.0641	

## SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞

直近日（2024年6月末）、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

第1計算期間末	(2023年12月15日)	純資産総額（円）		1口当たりの純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
		5,697,195	5,697,195	1.0678	1.0678
	2023年 6月末日	5,207,999		1.0416	
	7月末日	5,228,146		1.0456	
	8月末日	5,426,912		1.0550	
	9月末日	5,343,265		1.0377	
	10月末日	5,278,094		1.0241	
	11月末日	5,669,346		1.0626	
	12月末日	7,437,042		1.0741	
	2024年 1月末日	7,803,401		1.0908	
	2月末日	8,041,717		1.0972	
	3月末日	8,404,954		1.1204	
	4月末日	8,393,534		1.1182	
	5月末日	10,355,815		1.1182	
	6月末日	10,966,784		1.1432	

## SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞

直近日（2024年6月末）、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

第1計算期間末	(2023年12月15日)	純資産総額（円）		1口当たりの純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
		6,510,521	6,510,521	1.1294	1.1294
	2023年 6月末日	5,415,820		1.0832	
	7月末日	5,461,123		1.0922	
	8月末日	5,726,375		1.1114	
	9月末日	5,663,074		1.0973	

10月末日	5,585,783		1.0806
11月末日	6,510,985		1.1294
12月末日	6,815,050		1.1370
2024年 1月末日	8,972,636		1.1710
2月末日	9,991,884		1.1898
3月末日	9,914,211		1.2220
4月末日	9,970,481		1.2295
5月末日	10,637,522		1.2352
6月末日	11,322,234		1.2731

## 【分配の推移】

## SOMPO世界分散ファンド(安定型) &lt; DC年金 &gt;

	1口当たりの分配金(円)
第1計算期間	0.0000
第2中間計算期間末	

## SOMPO世界分散ファンド(安定成長型) &lt; DC年金 &gt;

	1口当たりの分配金(円)
第1計算期間	0.0000
第2中間計算期間末	

## SOMPO世界分散ファンド(成長型) &lt; DC年金 &gt;

	1口当たりの分配金(円)
第1計算期間	0.0000
第2中間計算期間末	

## 【収益率の推移】

## SOMPO世界分散ファンド(安定型) &lt; DC年金 &gt;

	収益率(%)
第1計算期間	2.7
第2中間計算期間末	2.9

(注) 各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配落の額)に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。  
 なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

## SOMPO世界分散ファンド(安定成長型) &lt; DC年金 &gt;

	収益率(%)
第1計算期間	6.8
第2中間計算期間末	5.6

(注) 各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配落の額)に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。  
 なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

## SOMPO世界分散ファンド(成長型) &lt; DC年金 &gt;

	収益率(%)
第1計算期間	12.9
第2中間計算期間末	10.3

(注) 各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配落の額)に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

## 2【設定及び解約の実績】

## SOMPO世界分散ファンド(安定型) &lt; DC年金 &gt;

	設定口数	解約口数
第1計算期間	10,173,838	
第2中間計算期間末	333,728	

(注1) 本邦外における設定及び解約はございません。

(注2) 設定口数には、当初募集期間中の設定口数を含みます。

## SOMPO世界分散ファンド(安定成長型) &lt; DC年金 &gt;

	設定口数	解約口数
第1計算期間	5,335,472	
第2中間計算期間末	3,933,618	

(注1) 本邦外における設定及び解約はございません。

(注2) 設定口数には、当初募集期間中の設定口数を含みます。

## SOMPO世界分散ファンド(成長型) &lt; DC年金 &gt;

	設定口数	解約口数
第1計算期間	5,764,785	
第2中間計算期間末	3,625,979	779,115

(注1) 本邦外における設定及び解約はございません。

(注2) 設定口数には、当初募集期間中の設定口数を含みます。

### 3【ファンドの経理状況】

1. 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）（以下「中間財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しております。  
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
2. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、2023年12月16日から2024年6月15日までの中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

## 【SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞】

## （１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第1期 2023年12月15日現在	第2期中間計算期間末 2024年6月15日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金	4,704	13,252
金銭信託	140,624	-
コール・ローン	-	139,078
投資信託受益証券	450,043	503,670
親投資信託受益証券	9,901,473	10,491,656
未収配当金	-	3,509
流動資産合計	10,496,844	11,151,165
資産合計	10,496,844	11,151,165
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払受託者報酬	1,674	1,787
未払委託者報酬	45,247	47,348
その他未払費用	736	669
流動負債合計	47,657	49,804
負債合計	47,657	49,804
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	10,173,838	10,507,566
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	275,349	593,795
元本等合計	10,449,187	11,101,361
純資産合計	10,449,187	11,101,361
負債純資産合計	10,496,844	11,151,165

## （２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第1期中間計算期間 自 2022年12月15日 至 2023年6月14日	第2期中間計算期間 自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
<b>営業収益</b>		
受取配当金	3,366	11,569
有価証券売買等損益	105,545	297,037
為替差損益	8,861	47,261
<b>営業収益合計</b>	<b>117,772</b>	<b>355,867</b>
<b>営業費用</b>		
支払利息	2	1
受託者報酬	1,625	1,787
委託者報酬	43,045	47,348
その他費用	8,048	2,173
<b>営業費用合計</b>	<b>52,720</b>	<b>51,309</b>
営業利益又は営業損失（ ）	65,052	304,558
経常利益又は経常損失（ ）	65,052	304,558
中間純利益又は中間純損失（ ）	65,052	304,558
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	-	-
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	-	275,349
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	13,888
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	13,888
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	65,052	593,795

## （３）【中間注記表】

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

## （中間貸借対照表に関する注記）

期別	第1期 2023年12月15日現在	第2期中間計算期間末 2024年6月15日現在
1. 受益権の総数	10,173,838口	10,507,566口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.0271円 (10,271円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.0565円 (10,565円)

## （中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	第1期中間計算期間 自 2022年12月15日 至 2023年6月14日	第2期中間計算期間 自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
1. その他費用	その他費用の内訳は、監査費用（680円）、カストディフィー（7,368円）となっております。	-

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	第1期 2023年12月15日現在	第2期中間計算期間末 2024年6月15日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## （その他の注記）

項目	第1期 自 2022年12月15日 至 2023年12月15日	第2期中間計算期間 自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
期首元本額	10,000,000円	10,173,838円
期中追加設定元本額	173,838円	333,728円
期中一部解約元本額	- 円	- 円

## （有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)  
該当事項はありません。

## 【SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞】

## （１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第1期 2023年12月15日現在	第2期中間計算期間末 2024年6月15日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金	4,186	5,773
金銭信託	68,534	-
コール・ローン	-	162,627
投資信託受益証券	359,806	673,499
親投資信託受益証券	5,289,551	9,648,078
未収配当金	-	4,282
流動資産合計	5,722,077	10,494,259
資産合計	5,722,077	10,494,259
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払受託者報酬	905	1,345
未払委託者報酬	23,609	35,952
その他未払費用	368	502
流動負債合計	24,882	37,799
負債合計	24,882	37,799
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	5,335,472	9,269,090
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	361,723	1,187,370
元本等合計	5,697,195	10,456,460
純資産合計	5,697,195	10,456,460
負債純資産合計	5,722,077	10,494,259

## （ 2 ） 【 中間損益及び剰余金計算書 】

（ 単位：円 ）

	第1期中間計算期間 自 2022年12月15日 至 2023年6月14日	第2期中間計算期間 自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
<b>営業収益</b>		
受取配当金	2,790	12,494
有価証券売買等損益	140,127	422,617
為替差損益	7,218	49,373
<b>営業収益合計</b>	<b>150,135</b>	<b>484,484</b>
<b>営業費用</b>		
支払利息	1	-
受託者報酬	795	1,345
委託者報酬	21,550	35,952
その他費用	7,685	8,133
<b>営業費用合計</b>	<b>30,031</b>	<b>45,430</b>
営業利益又は営業損失（ ）	120,104	439,054
経常利益又は経常損失（ ）	120,104	439,054
中間純利益又は中間純損失（ ）	120,104	439,054
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	-	-
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	-	361,723
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	386,593
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	386,593
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
<b>中間剰余金又は中間欠損金（ ）</b>	<b>120,104</b>	<b>1,187,370</b>

## （3）【中間注記表】

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

## （中間貸借対照表に関する注記）

期別	第1期 2023年12月15日現在	第2期中間計算期間末 2024年6月15日現在
1. 受益権の総数	5,335,472口	9,269,090口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.0678円 (10,678円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.1281円 (11,281円)

## （中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	第1期中間計算期間 自 2022年12月15日 至 2023年6月14日	第2期中間計算期間 自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
1. その他費用	その他費用の内訳は、監査費用（323円）、カスタディフィー（7,362円）となっております。	その他費用の内訳は、監査費用（502円）、カスタディフィー（7,631円）となっております。

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	第1期 2023年12月15日現在	第2期中間計算期間末 2024年6月15日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## （その他の注記）

項目	第1期 自 2022年12月15日 至 2023年12月15日	第2期中間計算期間 自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
期首元本額	5,000,000円	5,335,472円
期中追加設定元本額	335,472円	3,933,618円
期中一部解約元本額	- 円	- 円

## （有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)  
該当事項はありません。

## 【SOMPO世界分散ファンド(成長型)&lt;DC年金&gt;】

## (1)【中間貸借対照表】

(単位:円)

	第1期 2023年12月15日現在	第2期中間計算期間末 2024年6月15日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金	8,592	3,948
金銭信託	76,064	-
コール・ローン	-	166,079
投資信託受益証券	714,215	1,156,755
親投資信託受益証券	5,738,032	9,439,070
未収配当金	-	6,814
流動資産合計	6,536,903	10,772,666
資産合計	6,536,903	10,772,666
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払受託者報酬	939	1,511
未払委託者報酬	25,066	40,147
その他未払費用	377	540
流動負債合計	26,382	42,198
負債合計	26,382	42,198
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	5,764,785	8,611,649
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金( )	745,736	2,118,819
元本等合計	6,510,521	10,730,468
純資産合計	6,510,521	10,730,468
負債純資産合計	6,536,903	10,772,666

## （２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第1期中間計算期間 自 2022年12月15日 至 2023年6月14日	第2期中間計算期間 自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
<b>営業収益</b>		
受取配当金	5,404	19,933
有価証券売買等損益	286,903	810,596
為替差損益	12,385	93,755
<b>営業収益合計</b>	<b>304,692</b>	<b>924,284</b>
<b>営業費用</b>		
支払利息	4	-
受託者報酬	815	1,511
委託者報酬	21,678	40,147
その他費用	7,699	16,461
<b>営業費用合計</b>	<b>30,196</b>	<b>58,119</b>
営業利益又は営業損失（ ）	274,496	866,165
経常利益又は経常損失（ ）	274,496	866,165
中間純利益又は中間純損失（ ）	274,496	866,165
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	-	40,258
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	-	745,736
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	658,217
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	658,217
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	111,041
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	111,041
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	274,496	2,118,819

## （３）【中間注記表】

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

## （中間貸借対照表に関する注記）

期別	第1期 2023年12月15日現在	第2期中間計算期間末 2024年6月15日現在
1. 受益権の総数	5,764,785口	8,611,649口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.1294円 (11,294円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.2460円 (12,460円)

## （中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	第1期中間計算期間 自 2022年12月15日 至 2023年6月14日	第2期中間計算期間 自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
1. その他費用	その他費用の内訳は、監査費用（326円）、カスタディフィー（7,373円）となっております。	その他費用の内訳は、監査費用（540円）、カスタディフィー（15,912円）、その他（9円）となっております。

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	第1期 2023年12月15日現在	第2期中間計算期間末 2024年6月15日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## （その他の注記）

項目	第1期 自 2022年12月15日 至 2023年12月15日	第2期中間計算期間 自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
期首元本額	5,000,000円	5,764,785円
期中追加設定元本額	764,785円	3,625,979円
期中一部解約元本額	- 円	779,115円

## （有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）  
該当事項はありません。

（参考）

SOMPO世界分散ファンド（安定型）／（安定成長型）／（成長型）＜DC年金＞の主要投資対象の状況は以下のとおりです。

\*なお、以下は参考情報であり、監査証明の対象ではありません。

SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド

#### 貸借対照表

科 目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
金銭信託	444,918,666	-
コール・ローン	-	857,615,076
株式	35,065,657,950	32,959,886,600
未収配当金	-	323,534,550
未収利息	-	234
流動資産合計	35,510,576,616	34,141,036,460
資産合計	35,510,576,616	34,141,036,460
負債の部		
流動負債		
その他未払費用	24,207	-
流動負債合計	24,207	-
負債合計	24,207	-
純資産の部		
元本等		
元本	11,079,181,459	8,973,657,394
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	24,431,370,950	25,167,379,066
元本等合計	35,510,552,409	34,141,036,460
純資産合計	35,510,552,409	34,141,036,460
負債純資産合計	35,510,576,616	34,141,036,460

#### 注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1．有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 原則として取引所における計算期間末日の最終相場で評価しております。計算期間末日に当該取引所の最終相場がない場合には当該取引所における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でない認められた場合は、当該取引所における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。
2．費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。

（貸借対照表に関する注記）

期別	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1．受益権の総数	11,079,181,459口	8,973,657,394口
2．計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 3.2052円 (1万口当たり純資産額) (32,052円)	1口当たり純資産額 3.8046円 (1万口当たり純資産額) (38,046円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## (その他の注記)

項目	自 2022年12月15日 至 2023年12月15日	自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	15,532,528,426円	11,079,181,459円
同期中追加設定元本額	613,133,805円	376,388,687円
同期中一部解約元本額	5,066,480,772円	2,481,912,752円
元本の内訳*		
損保ジャパン日本興亜ラージキャップ・バリュー・ファンド(F o F s用)(適格機関投資家専用)	5,789,399,736円	3,648,837,446円
ハッピーエイジング20	1,781,214,081円	1,881,010,443円
ハッピーエイジング30	1,541,801,023円	1,549,379,305円
ハッピーエイジング40	1,237,817,729円	1,184,317,431円
ハッピーエイジング50	315,827,842円	290,508,840円
ハッピーエイジング60	66,758,077円	58,656,177円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035	153,699,014円	157,582,319円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045	102,032,896円	105,077,037円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055	75,154,997円	77,989,793円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2065	15,181,107円	19,912,480円
SOMPO世界分散ファンド(安定型)<DC年金>	90,892円	83,460円
SOMPO世界分散ファンド(安定成長型)<DC年金>	71,333円	114,711円
SOMPO世界分散ファンド(成長型)<DC年金>	132,732円	187,952円
計	11,079,181,459円	8,973,657,394円

\* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

## S J A Mスモールキャップ・マザーファンド

## 貸借対照表

	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
科 目	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
金銭信託	641,245,881	-
コール・ローン	-	350,343,310

科 目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
	金額（円）	金額（円）
株式	17,024,427,560	19,721,911,920
未収配当金	11,469,000	209,730,410
未収利息	-	95
流動資産合計	17,677,142,441	20,281,985,735
資産合計	17,677,142,441	20,281,985,735
負債の部		
流動負債		
未払金	475,496,098	-
その他未払費用	19,923	-
流動負債合計	475,516,021	-
負債合計	475,516,021	-
純資産の部		
元本等		
元本	4,139,316,922	4,130,240,227
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	13,062,309,498	16,151,745,508
元本等合計	17,201,626,420	20,281,985,735
純資産合計	17,201,626,420	20,281,985,735
負債純資産合計	17,677,142,441	20,281,985,735

## 注記表

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1．有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 原則として取引所における計算期間末日の最終相場で評価しております。計算期間末日に当該取引所の最終相場がない場合には当該取引所における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でない認められた場合は、当該取引所における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。
2．費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。

## （貸借対照表に関する注記）

期別	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1．受益権の総数	4,139,316,922口	4,130,240,227口
2．計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 4.1557円 (1万口当たり純資産額) (41,557円)	1口当たり純資産額 4.9106円 (1万口当たり純資産額) (49,106円)

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1．貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2．時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3．金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## （その他の注記）

項目	自 2022年12月15日 至 2023年12月15日	自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	4,481,268,774円	4,139,316,922円
同期中追加設定元本額	384,565,496円	153,942,094円
同期中一部解約元本額	726,517,348円	163,018,789円
元本の内訳*		
ハッピーエイジング20	1,394,676,659円	1,459,293,359円
ハッピーエイジング30	1,207,189,081円	1,202,098,292円
ハッピーエイジング40	969,158,425円	918,925,398円
ハッピーエイジング50	247,276,821円	225,421,102円
ハッピーエイジング60	52,267,343円	45,523,520円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035	120,310,273円	122,244,945円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045	78,137,576円	81,747,976円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055	58,309,435円	59,267,350円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2065	11,755,728円	15,419,174円
SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞	73,858円	65,543円
SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞	57,082円	88,152円
SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞	104,641円	145,416円
計	4,139,316,922円	4,130,240,227円

\*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券に関する注記）  
該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）  
該当事項はありません。

#### SOMPO外国株式アクティブバリュウ（リスク抑制型）マザーファンド

##### 貸借対照表

科 目	2023年12月15日現在 金額（円）	2024年6月15日現在 金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	21,934,471	26,704,329
金銭信託	30,262,438	-
コール・ローン	-	25,175,673
株式	1,412,259,282	1,765,198,164
投資証券	9,821,342	8,268,213
未収配当金	2,103,954	2,182,408
未収利息	-	6
流動資産合計	1,476,381,487	1,827,528,793
資産合計	1,476,381,487	1,827,528,793
負債の部		
流動負債		
その他未払費用	1,122	-
流動負債合計	1,122	-
負債合計	1,122	-
純資産の部		
元本等		
元本	570,926,575	605,298,887
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	905,453,790	1,222,229,906
元本等合計	1,476,380,365	1,827,528,793
純資産合計	1,476,380,365	1,827,528,793

科 目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
	金額（円）	金額（円）
負債純資産合計	1,476,381,487	1,827,528,793

## 注記表

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 原則として取引所における計算期間末日の最終相場（外貨建証券等の場合は計算期間末日において知りうる直近の最終相場）で評価しております。計算期間末日に当該取引所の最終相場がない場合には当該取引所における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でないと認められた場合は、当該取引所における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。 投資証券 移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 原則として取引所における計算期間末日の最終相場（外貨建証券等の場合は計算期間末日において知りうる直近の最終相場）で評価しております。計算期間末日に当該取引所の最終相場がない場合には当該取引所における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でないと認められた場合は、当該取引所における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。
4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。 外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

## （貸借対照表に関する注記）

期別	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1. 受益権の総数	570,926,575口	605,298,887口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 2.5859円 (25,859円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 3.0192円 (30,192円)

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## （その他の注記）

項目	自 2022年12月15日 至 2023年12月15日	自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	621,534,200円	570,926,575円

項目	自 2022年12月15日 至 2023年12月15日	自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
同期中追加設定元本額	164,645,882円	69,853,638円
同期中一部解約元本額	215,253,507円	35,481,326円
元本の内訳*		
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035	168,197,665円	173,561,816円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045	173,189,449円	175,548,640円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055	187,525,869円	199,947,499円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2065	39,683,261円	53,199,786円
SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞	714,403円	659,523円
SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞	641,493円	1,011,361円
SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞	974,435円	1,370,262円
計	570,926,575円	605,298,887円

\*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券に関する注記）  
該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）  
該当事項はありません。

#### 損保ジャパン日本債券マザーファンド

##### 貸借対照表

	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
科 目	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
金銭信託	329,667,063	-
コール・ローン	-	633,755,141
国債証券	22,254,485,700	21,470,437,600
地方債証券	986,798,000	981,790,000
特殊債券	846,361,467	838,163,208
社債券	4,651,803,000	8,227,489,000
未収利息	44,022,951	58,227,378
前払費用	10,210,351	9,892,630
流動資産合計	29,123,348,532	32,219,754,957
資産合計	29,123,348,532	32,219,754,957
負債の部		
流動負債		
未払金	-	300,000,000
その他未払費用	13,841	-
流動負債合計	13,841	300,000,000
負債合計	13,841	300,000,000
純資産の部		
元本等		
元本	21,059,086,462	23,453,683,059
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	8,064,248,229	8,466,071,898
元本等合計	29,123,334,691	31,919,754,957
純資産合計	29,123,334,691	31,919,754,957
負債純資産合計	29,123,348,532	32,219,754,957

##### 注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券</p> <p>個別法に基づき、以下のとおり、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として日本証券業協会発表の店頭基準気配値段、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>ただし、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認められた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認められた価額で評価しております。</p>
2. 費用・収益の計上基準	<p>有価証券売買等損益の計上基準</p> <p>約定日基準で計上しております。</p>

## (貸借対照表に関する注記)

期別	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1. 受益権の総数	21,059,086,462口	23,453,683,059口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.3829円 (13,829円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.3610円 (13,610円)

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。</p>	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## (その他の注記)

項目	自 2022年12月15日 至 2023年12月15日	自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	17,765,912,524円	21,059,086,462円
同期中追加設定元本額	4,563,711,547円	3,090,880,991円
同期中一部解約元本額	1,270,537,609円	696,284,394円
元本の内訳*		
SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド(2%コース)(FofS用)(適格機関投資家専用)	30,036,856円	16,374,963円
SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド(4%コース)(FofS用)(適格機関投資家専用)	56,128,740円	40,649,581円
損保ジャパン国内債券ファンド(適格機関投資家専用)	2,025,107,993円	2,039,461,231円
マルチアセット戦略ファンド(4%型)(非課税適格機関投資家専用)	223,109,184円	407,743,908円
損保ジャパン日本債券ファンド	979,959,498円	962,772,530円
ハッピーエイジング20	328,632,125円	411,885,805円
ハッピーエイジング30	1,344,908,688円	1,603,859,346円
ハッピーエイジング40	6,322,425,548円	7,177,997,442円
ハッピーエイジング50	4,511,252,274円	4,962,182,492円
ハッピーエイジング60	2,883,402,168円	2,983,917,728円
好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコース	117,069,971円	105,844,335円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035	1,478,445,266円	1,799,324,155円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045	538,357,008円	661,406,996円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055	207,236,854円	260,197,699円

項目	自 2022年12月15日 至 2023年12月15日	自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2065	10,802,871円	17,299,886円
SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞	1,712,681円	1,866,012円
SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞	313,254円	582,797円
SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞	185,483円	316,153円
計	21,059,086,462円	23,453,683,059円

\* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券に関する注記）  
該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）  
該当事項はありません。

### 損保ジャパン外国債券マザーファンド

#### 貸借対照表

科 目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	10,583,723	18,112,669
金銭信託	1,082,987	-
コール・ローン	-	13,819,815
国債証券	1,429,506,158	1,708,257,386
派生商品評価勘定	46,804,668	7,874,186
未収利息	9,270,606	8,775,072
前払費用	1,344,730	2,999,614
流動資産合計	1,498,592,872	1,759,838,742
資産合計	1,498,592,872	1,759,838,742
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	-	719,463
その他未払費用	247	-
流動負債合計	247	719,463
負債合計	247	719,463
純資産の部		
元本等		
元本	1,041,112,059	1,255,076,288
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	457,480,566	504,042,991
元本等合計	1,498,592,625	1,759,119,279
純資産合計	1,498,592,625	1,759,119,279
負債純資産合計	1,498,592,872	1,759,838,742

#### 注記表

##### （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、以下のとおり、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として日本証券業協会発表の店頭基準気配値段、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>ただし、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p> <p>為替予約取引</p>
--------------------	--

2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	個別法による時価法によっております。時価評価にあたっては、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。
3. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
4. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

## (貸借対照表に関する注記)

期別	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1. 受益権の総数	1,041,112,059口	1,255,076,288口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.4394円 (14,394円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.4016円 (14,016円)

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引等に関する注記に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでデリバティブ取引における名目的な契約額または想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同左

## (その他の注記)

項目	自 2022年12月15日 至 2023年12月15日	自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	1,230,514,262円	1,041,112,059円
同期中追加設定元本額	414,172,571円	547,765,621円
同期中一部解約元本額	603,574,774円	333,801,392円
元本の内訳*		
SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド(2%コース)(FofS用)(適格機関投資家専用)	20,486,857円	15,850,945円
SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド(4%コース)(FofS用)(適格機関投資家専用)	38,836,526円	39,666,816円
マルチアセット戦略ファンド(4%型)(非課税適格機関投資家専用)	159,481,334円	396,327,789円
損保ジャパン外国債券ファンド	817,994,945円	797,454,374円
SOMPO世界分散ファンド(安定型)<DC年金>	2,696,810円	2,867,219円
SOMPO世界分散ファンド(安定成長型)<DC年金>	1,306,280円	2,401,959円
SOMPO世界分散ファンド(成長型)<DC年金>	309,307円	507,186円
計	1,041,112,059円	1,255,076,288円

\* 当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券に関する注記）  
該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）

#### 通貨関連

種類	2023年12月15日 現在				2024年6月15日 現在			
	契約額等 （円）	うち1年 超	時価 （円）	評価損益 （円）	契約額等 （円）	うち1年 超	時価 （円）	評価損益 （円）
市場取引以外の取引 為替予約取引								
売建	1,440,697,136	-	1,393,892,468	46,804,668	1,707,194,210	-	1,700,039,487	7,154,723
ドル	660,169,575	-	636,343,012	23,826,563	783,719,212	-	784,180,304	461,092
カナダドル	32,728,181	-	31,851,067	877,114	30,145,573	-	29,896,400	249,173
メキシコペソ	15,929,216	-	15,544,937	384,279	17,791,605	-	16,400,479	1,391,126
ユーロ	473,084,307	-	459,038,250	14,046,057	537,318,585	-	531,763,576	5,555,009
債券	73,504,997	-	71,482,676	2,022,321	88,884,326	-	88,995,550	111,224
スウェーデンクローナ	6,187,940	-	6,093,736	94,204	5,237,460	-	5,253,487	16,027
ノルウェークローネ	3,016,672	-	2,985,997	30,675	3,333,551	-	3,282,693	50,858
デンマーククローネ	7,784,676	-	7,553,925	230,751	5,527,584	-	5,470,192	57,392
ポーランドズロチ	13,737,403	-	13,425,202	312,201	9,626,442	-	9,367,747	258,695
オーストラリアドル	30,181,290	-	29,483,728	697,562	25,545,069	-	25,452,511	92,558
シンガポールドル	19,398,403	-	18,813,414	584,989	20,443,195	-	20,437,348	5,847
オフショア人民元	104,974,476	-	101,276,524	3,697,952	179,621,608	-	179,539,200	82,408
合計	1,440,697,136	-	1,393,892,468	46,804,668	1,707,194,210	-	1,700,039,487	7,154,723

（注）時価の算定方法

1. 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算期間末日において予約為替の受渡日（以下、「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該予約為替は当該仲値で評価しております。

計算期間末日において当該日の対顧客先物相場が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

（イ）計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いています。

（ロ）計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いています。

2. 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相場の仲値で評価しております。

3. 換算において円未満の端数は切捨てております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

#### 損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

#### 貸借対照表

科 目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	64,675,177	92,142,035
金銭信託	51,976,813	-
コール・ローン	-	96,338,888
国債証券	13,483,484,079	15,443,037,503
未収利息	66,887,174	78,289,904
前払費用	26,950,949	16,864,661

科 目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
	金額（円）	金額（円）
流動資産合計	13,693,974,192	15,726,672,991
資産合計	13,693,974,192	15,726,672,991
負債の部		
流動負債		
その他未払費用	3,356	-
流動負債合計	3,356	-
負債合計	3,356	-
純資産の部		
元本等		
元本	7,172,757,883	7,606,603,189
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	6,521,212,953	8,120,069,802
元本等合計	13,693,970,836	15,726,672,991
純資産合計	13,693,970,836	15,726,672,991
負債純資産合計	13,693,974,192	15,726,672,991

## 注記表

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、以下のとおり、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として日本証券業協会発表の店頭基準気配値段、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>ただし、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	<p>信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。</p>
3. 費用・収益の計上基準	<p>有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準</p> <p>約定日基準で計上しております。</p>
4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。</p> <p>但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。</p>

## （貸借対照表に関する注記）

期別	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1. 受益権の総数	7,172,757,883口	7,606,603,189口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.9092円 (19,092円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 2.0675円 (20,675円)

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	<p>当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。</p>	同左

項目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## (その他の注記)

項目	自 2022年12月15日 至 2023年12月15日	自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	6,349,879,959円	7,172,757,883円
同期中追加設定元本額	1,231,175,260円	571,608,388円
同期中一部解約元本額	408,297,336円	137,763,082円
元本の内訳*		
ハッピーエイジング20	706,493,624円	807,903,326円
ハッピーエイジング30	2,409,176,994円	2,621,502,940円
ハッピーエイジング40	2,059,036,374円	2,133,053,281円
ハッピーエイジング50	628,606,455円	626,030,765円
ハッピーエイジング60	459,032,241円	436,701,397円
損保ジャパン外国債券ファンド(為替ヘッジなし)	438,399,988円	455,643,071円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035	391,032,017円	434,137,286円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045	49,688,425円	54,570,529円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055	25,873,619円	29,250,655円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2065	4,439,482円	6,405,039円
SOMPO世界分散ファンド(安定型)<DC年金>	240,592円	245,945円
SOMPO世界分散ファンド(安定成長型)<DC年金>	169,545円	290,810円
SOMPO世界分散ファンド(成長型)<DC年金>	568,527円	868,145円
計	7,172,757,883円	7,606,603,189円

\*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

## (有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

## (デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

## 損保ジャパンJ-REITマザーファンド

## 貸借対照表

	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
科 目	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
金銭信託	7,656,153	-
コール・ローン	-	2,305,018
投資証券	929,152,500	785,926,000
未収入金	25,111,216	-
未収配当金	5,905,545	5,868,625
流動資産合計	967,825,414	794,099,643
資産合計	967,825,414	794,099,643
負債の部		
流動負債		
未払金	31,809,369	-
その他未払費用	253	-
流動負債合計	31,809,622	-
負債合計	31,809,622	-
純資産の部		

科 目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
	金額（円）	金額（円）
元本等		
元本	320,813,333	280,537,822
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	615,202,459	513,561,821
元本等合計	936,015,792	794,099,643
純資産合計	936,015,792	794,099,643
負債純資産合計	967,825,414	794,099,643

## 注記表

## （重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券 移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 原則として取引所における計算期間末日の最終相場で評価しております。計算期間末日に当該取引所の最終相場がない場合には当該取引所における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によるものが適当でない認められた場合は、当該取引所における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。

## （貸借対照表に関する注記）

期別	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1. 受益権の総数	320,813,333口	280,537,822口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 2.9176円 (1万口当たり純資産額) (29,176円)	1口当たり純資産額 2.8306円 (1万口当たり純資産額) (28,306円)

## （金融商品に関する注記）

## 金融商品の時価等に関する事項

項目	2023年12月15日現在	2024年6月15日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## （その他の注記）

項目	自 2022年12月15日 至 2023年12月15日	自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	405,952,846円	320,813,333円
同期中追加設定元本額	32,350,054円	357,796円
同期中一部解約元本額	117,489,567円	40,633,307円
元本の内訳*		
損保ジャパン・グローバルREITファンド（毎月分配型）	320,181,045円	279,585,645円
SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞	255,775円	280,581円
SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞	180,872円	340,652円
SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞	195,641円	330,944円

項目	自 2022年12月15日 至 2023年12月15日	自 2023年12月16日 至 2024年6月15日
計	320,813,333円	280,537,822円

\*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(有価証券に関する注記)  
該当事項はありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)  
該当事項はありません。

#### 4【委託会社等の概況】

##### （1）【資本金の額】

（2024年6月末現在）

資本金の額	1,550百万円
会社が発行する株式の総数	50,000株
発行済株式総数	24,085株

最近5年間における主な資本金の額の増減：該当事項はありません。

##### （2）【事業の内容及び営業の状況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）ならびに証券投資信託の募集又は私募（第二種金融商品取引業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資一任契約に基づく運用（投資運用業）および投資助言業務を行っています。

委託会社の運用する投資信託（親投資信託を除きます。）は2024年6月末現在、計307本（追加型株式投資信託167本、単位型株式投資信託101本、単位型公社債投資信託39本）であり、その純資産総額の合計は2,295,952百万円です。

##### （3）【その他】

###### （1）定款の変更

該当事項はありません。

###### （2）訴訟事件その他の重要事項

該当事項はありません。

## 5【委託会社等の経理状況】

- 委託会社であるSOMPOアセットマネジメント株式会社（以下「委託会社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）により作成しております。
- 委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

## (1)【貸借対照表】

区分	注記 番号	前事業年度 (2023年3月31日)		当事業年度 (2024年3月31日)	
		金額(千円)		金額(千円)	
(資産の部)					
流動資産					
1 現金・預金			3,546,171		4,034,755
2 前払費用			101,203		112,742
3 未収委託者報酬			1,194,368		1,702,469
4 未収運用受託報酬			2,618,849		4,148,794
5 その他			3,043		2,289
流動資産合計			7,463,635		10,001,052
固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	1		8,078		3,942
(2) 器具備品	1		73,225		43,412
有形固定資産合計			81,304		47,354
2 無形固定資産					
(1) 電話加入権			4,535		4,535
無形固定資産合計			4,535		4,535
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券			658,124		591,110
(2) 長期差入保証金			173,961		173,961
(3) 繰延税金資産			348,349		341,629
(4) その他			32		31
投資その他の資産合計			1,180,467		1,106,732
固定資産合計			1,266,307		1,158,622
資産合計			8,729,943		11,159,674

区分	注記 番号	前事業年度 (2023年3月31日)		当事業年度 (2024年3月31日)	
		金額(千円)		金額(千円)	
(負債の部)					
流動負債					
1 預り金			7,771		15,473
2 未払金					
(1) 未払配当金	2	770,000		1,150,000	
(2) 未払手数料		460,087		606,388	
(3) その他未払金	2	141,725	1,371,812	216,600	1,972,988
3 未払費用			1,873,823		2,951,081
4 未払消費税等			214,504		301,562
5 未払法人税等			262,245		526,818
6 賞与引当金			205,460		185,326
7 役員賞与引当金			6,600		8,100
流動負債合計			3,942,217		5,961,351
固定負債					
1 退職給付引当金			245,172		257,375
2 資産除去債務			9,422		9,582
固定負債合計			254,594		266,957
負債合計			4,196,812		6,228,309
(純資産の部)					
株主資本					
1 資本金			1,550,000		1,550,000

2 資本剰余金				
(1) 資本準備金			413,280	413,280
資本剰余金合計			413,280	413,280
3 利益剰余金				
(1) その他利益剰余金 繰越利益剰余金			2,544,383	2,875,330
利益剰余金合計			2,544,383	2,875,330
株主資本合計			4,507,664	4,838,610
評価・換算差額等				
1 その他有価証券評価差 額金			25,466	92,755
評価・換算差額等合計			25,466	92,755
純資産合計			4,533,130	4,931,365
負債・純資産合計			8,729,943	11,159,674

## (2) 【損益計算書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
		金額(千円)		金額(千円)	
営業収益					
1 委託者報酬		6,268,013		8,333,682	
2 運用受託報酬		5,283,477	11,551,491	6,117,209	14,450,891
営業費用					
1 支払手数料		2,600,324		3,499,242	
2 広告宣伝費		25,984		14,970	
3 公告費		200		200	
4 調査費		3,945,034		5,246,032	
(1) 調査費		1,032,243		1,274,945	
(2) 委託調査費		2,909,783		3,968,103	
(3) 図書費		3,007		2,983	
5 営業雑経費		149,447		146,958	
(1) 通信費		13,489		13,473	
(2) 印刷費		115,724		111,483	
(3) 諸会費		20,233	6,720,990	22,001	8,907,404
一般管理費					
1 給料		1,754,897		1,780,148	
(1) 役員報酬		59,540		58,490	
(2) 給料・手当		1,460,378		1,479,591	
(3) 賞与		234,978		242,065	
2 福利厚生費		231,703		249,823	
3 交際費		10,365		15,575	
4 寄付金		1,300		1,330	
5 旅費交通費		29,102		35,906	
6 法人事業税		53,595		61,266	
7 租税公課		26,705		19,614	
8 不動産賃借料		221,573		221,404	
9 退職給付費用		87,487		91,397	
10 賞与引当金繰入		205,460		185,326	
11 役員賞与引当金繰入		6,600		8,100	
12 固定資産減価償却費		39,296		38,014	
13 諸経費		437,986	3,106,075	459,163	3,167,070
営業利益			1,724,425		2,376,417
営業外収益					
1 受取配当金		8,687		476	
2 受取利息		0		0	
3 有価証券償還益		3,726		-	
4 為替差益		11,910		9,754	
5 保険配当金		621		626	
6 雑益		2,493	27,439	2,615	13,473
営業外費用					
1 有価証券売却損		-		7,678	
2 有価証券償還損		-		278	
3 事務過誤費		9,164		228,515	
4 雑損		394	9,558	241	236,712
経常利益			1,742,306		2,153,177
特別損失					
1 有価証券評価損		4,032		-	
2 固定資産除却損	1	-	4,032	0	0
税引前当期純利益			1,738,274		2,153,177

法人税・住民税及び事業税		522,813	695,208
法人税等調整額		30,682	22,977
当期純利益		1,184,778	1,480,946

## (3)【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	1,550,000	413,280	413,280	2,129,605	2,129,605	4,092,885
当期変動額						
剰余金の配当				770,000	770,000	770,000
当期純利益				1,184,778	1,184,778	1,184,778
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	-	-	-	414,778	414,778	414,778
当期末残高	1,550,000	413,280	413,280	2,544,383	2,544,383	4,507,664

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	45,985	45,985	4,138,870
当期変動額			
剰余金の配当			770,000
当期純利益			1,184,778
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	20,518	20,518	20,518
当期変動額合計	20,518	20,518	394,259
当期末残高	25,466	25,466	4,533,130

当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	1,550,000	413,280	413,280	2,544,383	2,544,383	4,507,664
当期変動額						
剰余金の配当				1,150,000	1,150,000	1,150,000
当期純利益				1,480,946	1,480,946	1,480,946
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	-	-	-	330,946	330,946	330,946
当期末残高	1,550,000	413,280	413,280	2,875,330	2,875,330	4,838,610

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	25,466	25,466	4,533,130
当期変動額			
剰余金の配当			1,150,000
当期純利益			1,480,946

株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	67,288	67,288	67,288
当期変動額合計	67,288	67,288	398,234
当期末残高	92,755	92,755	4,931,365

## 重要な会計方針

## 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

## その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

## 2. 固定資産の減価償却の方法

## 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	15年
器具備品	2～20年

## 3. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

## 4. 引当金の計上基準

## (1) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

## (2) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、当事業年度における支給見込額を計上しております。

## (3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における要支給額を計上しております。

退職給付債務の計算に当たっては、「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号）に定める簡便法によっております。

## 5. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(1) 投資信託事業は、信託約款に基づきファンドごとの日々の純資産総額に対し信託報酬率を乗じた額を、運用期間に応じて収益として認識しております。

また、成功報酬型の収益は、信託約款に基づきファンドごとに取り決めている運用パフォーマンスの結果に応じ、報酬を受領する権利が確定した時点で収益を認識しております。

(2) 投資顧問事業は、投資顧問契約に基づきファンドごとの資産残高に対し報酬料率を乗じた額を、運用期間に応じて収益として認識しております。

また、成功報酬型の収益は、投資顧問契約に基づき契約ごとに取り決めている運用パフォーマンスの結果に応じ、報酬を受領する権利が確定した時点で収益を認識しております。

## 6. その他財務諸表作成のための基礎となる事項

## (1) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

## 注記事項

## (貸借対照表関係)

## 1 有形固定資産の減価償却累計額は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
建物	104,035	108,411
器具備品	143,638	177,083

## 2 関係会社項目

関係会社に対する負債は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
未払金		
未払配当金	770,000	1,150,000
その他未払金	-	188

## (損益計算書関係)

1 固定資産除却損の内容は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
器具備品	-	0

## (株主資本等変動計算書関係)

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

## 1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度 期首株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度 期末株式数
普通株式	24,085株	-株	-株	24,085株

## 2. 剰余金の配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

(決議)	株式の 種類	配当金の 総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2023年3月30日 取締役会	普通 株式	770,000千円	31,970円	-	2023年3月31日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの  
該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

## 1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度 期首株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度 期末株式数
普通株式	24,085株	-株	-株	24,085株

## 2. 剰余金の配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

(決議)	株式の 種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2024年3月28日 取締役会	普通 株式	1,150,000千円	47,747円	-	2024年3月31日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの  
該当事項はありません。

## (金融商品関係)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

## (1) 金融商品に対する取組方針

当社では、主として短期的な預金及び一部の有価証券によって運用しており、経営として許容できる範囲内にリスクを制御するよう、適切に資産運用を行っております。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、そのほとんどが信託財産から支払われるため、回収リスクは僅少であります。

投資有価証券は、主に投資信託を保有しており、今後の基準価額の下落によっては、売却損・評価損計上による利益減少や、評価差額金の減少により純資産が減少するなど、価格変動リスクに晒されております。

## (3) 金融商品に係るリスク管理体制

当社では、短期的な預金について、格付の高い金融機関とのみ取引を行っております。

価格変動リスクについては、四半期ごとに時価の状況等を把握し、当該状況については資産運用管理規程に従い、経理担当部が取締役会等へ報告し、適切に管理を行っております。

## (4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度（2023年3月31日）

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
投資有価証券(2)	657,374	657,374	-
資産計	657,374	657,374	-

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
投資有価証券（ 2 ）	590,360	590,360	-
資産計	590,360	590,360	-

- ( 1 ) 「現金・預金」、「未収委託者報酬」、「未収運用受託報酬」、「未払金」及び「未払費用」は、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。
- ( 2 ) 以下の市場価格のない株式等は、投資有価証券には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

（単位：千円）

区分	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
非上場株式	750	750

注1. 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
(1) 預金	3,546,149	-	-	-
(2) 未収委託者報酬	1,194,368	-	-	-
(3) 未収運用受託報酬	2,618,849	-	-	-
(4) 投資有価証券 その他有価証券のうち 満期があるもの				
株式	-	-	-	-
債券	-	-	-	-
その他	147,960	90,026	150,462	268,926
合計	7,507,327	90,026	150,462	268,926

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
(1) 預金	4,034,755	-	-	-
(2) 未収委託者報酬	1,702,469	-	-	-
(3) 未収運用受託報酬	4,148,794	-	-	-
(4) 投資有価証券 その他有価証券のうち 満期があるもの				
株式	-	-	-	-
債券	-	-	-	-
その他	12,783	257,883	167,593	152,101
合計	9,898,803	257,883	167,593	152,101

注2. 社債、新株予約権付社債及び長期借入金の決算日後の返済予定額

該当事項はありません。

## 3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価	観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価
レベル2の時価	観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の算定に係るインプットを用いて算定した時価
レベル3の時価	観察できない時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

- ( 1 ) 時価で貸借対照表に計上している金融商品

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券	-	462,624	194,750	657,374

資産計	-	462,624	194,750	657,374
-----	---	---------	---------	---------

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券	-	333,213	257,147	590,360
資産計	-	333,213	257,147	590,360

（2）期首残高から当事業年度末残高への調整表、当事業年度の損益に記載した評価損益

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	投資有価証券	合計
期首残高	180,730	180,730
当事業年度の損益又は評価・換算差額等		
損益の計上	-	-
その他有価証券評価差額金	14,020	14,020
購入、売却、発行及び決済		
購入	-	-
売却	-	-
発行	-	-
決済	-	-
レベル3の時価への振替	-	-
レベル3の時価からの振替	-	-
当事業年度末残高	194,750	194,750
当事業年度の損益に計上した額のうち貸借対照表において保有する金融資産又は金融負債の評価損益	-	-

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	投資有価証券	合計
期首残高	194,750	194,750
当事業年度の損益又は評価・換算差額等		
損益の計上	0	0
その他有価証券評価差額金	51,397	51,397
購入、売却、発行及び決済		
購入	11,100	11,100
売却	100	100
発行	-	-
決済	-	-
レベル3の時価への振替	-	-
レベル3の時価からの振替	-	-
当事業年度末残高	257,147	257,147

当事業年度の損益に計上した額のうち貸借対照表において保有する金融資産又は金融負債の評価損益	-	-
---	---	---

## (3) 時価の評価プロセスの説明

時価の算定にあたっては、投資信託の基準価額を用いております。

## (有価証券関係)

1. 売買目的有価証券  
該当事項はありません。
2. 満期保有目的の債券  
該当事項はありません。
3. 子会社株式及び関連会社株式  
該当事項はありません。
4. その他有価証券で時価のあるもの

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表 計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	371,165	294,700	76,465
	小計	371,165	294,700	76,465
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	286,209	330,000	43,790
	小計	286,209	330,000	43,790
合計		657,374	624,700	32,674

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表 計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	479,618	336,668	142,950
	小計	479,618	336,668	142,950
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	(1) 株式	-	-	-
	(2) 債券	-	-	-
	(3) その他	110,742	120,000	9,258
	小計	110,742	120,000	9,258
合計		590,360	456,668	133,692

## 5. 売却したその他有価証券

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
(1) 株式	-	-	-
(2) 債券	-	-	-

(3) その他	-	-	-
合計	-	-	-

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
(1) 株式	-	-	-
(2) 債券	-	-	-
(3) その他	187,421	22,295	29,973
合計	187,421	22,295	29,973

## （退職給付関係）

## 1. 採用している退職給付制度の概要（出向受入者に対する出向元への退職金負担額を除く。）

当社は、従業員の退職給付に充てるため、非積立型の確定給付制度及び確定拠出制度を採用しております。

退職一時金制度（非積立型制度であります。）では、退職給付として、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しております。

なお、当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

## 2. 簡便法を適用した確定給付制度

## （1）簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
退職給付引当金の期首残高	208,284	245,172
退職給付費用	37,940	40,528
退職給付の支払額	1,052	28,325
退職給付引当金の期末残高	245,172	257,375

## （2）退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

（単位：千円）

	前事業年度 （2023年3月31日）	当事業年度 （2024年3月31日）
非積立型制度の退職給付債務	245,172	257,375
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	245,172	257,375
退職給付引当金	245,172	257,375
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	245,172	257,375

## （3）退職給付費用

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
簡便法で計算した退職給付費用	37,940	40,528

## 3. 確定拠出制度

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
--	--	--

当社の確定拠出制度への要 拠出額	41,080	43,710
---------------------	--------	--------

## (税効果会計関係)

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
繰延税金資産		
ソフトウェア損金算入限度超過額	176,793	169,388
退職給付引当金	75,071	78,808
賞与引当金	62,912	56,746
繰延資産損金算入限度超過額	21,910	43,352
未払事業税	15,571	26,319
未払金否認	7,604	8,118
その他	7,100	7,165
繰延税金資産 小計	366,961	389,896
将来減算一時差異等の合計に係る 評価性引当額	4,119	4,168
評価性引当額 小計	4,119	4,168
繰延税金資産 合計	362,842	385,728
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額金	11,240	40,937
株式譲渡損益	3,031	3,031
固定資産除去価額	222	131
繰延税金負債 合計	14,493	44,099
繰延税金資産の純額	348,349	341,629

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

## 3. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

グループ通算制度を適用しております。

また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

## (資産除去債務関係)

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

## 1. 当該資産除去債務の概要

本社事務所及び事業継続用事務所の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

## 2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から15年と見積り、割引率は0.2%~1.8%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

## 3. 当該資産除去債務の総額の増減

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
期首残高	9,265	9,422
取得	-	-
時の経過による調整額	157	159
期末残高	9,422	9,582

## （収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
投資信託事業（基本報酬）	6,264,984	8,199,234
投資信託事業（成功報酬）	3,029	134,447
投資顧問事業（基本報酬）	2,834,396	2,793,161
投資顧問事業（成功報酬）	2,449,080	3,324,047
合計	11,551,491	14,450,891

## （セグメント情報等）

## セグメント情報

当社は、投資運用事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 関連情報

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

## 1．製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2．地域ごとの情報

## （1）営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えているため、記載を省略しております。

## （2）有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

## 3．主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称又は氏名	営業収益
年金積立金管理運用独立行政法人	2,064,709

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

## 1．製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2．地域ごとの情報

## （1）営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えているため、記載を省略しております。

## （2）有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

## 3．主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称又は氏名	営業収益
年金積立金管理運用独立行政法人	3,413,256

## （関連当事者情報）

## 1．関連当事者との取引

（1）財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等に限る。）等  
該当事項はありません。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等  
該当事項はありません。

(3) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 (億円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社を持つ会社	損保ジャパンDC証券株式会社	東京都新宿区	30	確定拠出年金業	-	投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託代行手数料の支払(注1)	677,364	未払手数料	168,088
同一の親会社を持つ会社	SOMPOひまわり生命保険株式会社	東京都新宿区	172	生命保険業	-	投資顧問契約に基づく資産運用	運用受託報酬の受取り(注2)	176,500	未収運用受託報酬	96,493

注1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

注2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 代行手数料の支払いについては、一般的取引条件によっております。

(注2) 運用受託報酬の受取りについては、一般的取引条件によっております。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 (億円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社を持つ会社	損保ジャパンDC証券株式会社	東京都新宿区	30	確定拠出年金業	-	投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託代行手数料の支払(注1)	838,690	未払手数料	218,649
同一の親会社を持つ会社	SOMPOリスクマネジメント株式会社	東京都新宿区	0	リスクコンサルティング業	-	投資信託等に係る委託調査	投資信託等委託調査費の支払(注2)	180,252	未払費用	171,632

注1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

注2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 代行手数料の支払いについては、一般的取引条件によっております。

(注2) 委託調査費の支払いについては、一般的取引条件によっております。

(4) 財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等  
役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等との取引はありません。

## 2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

### (1) 親会社情報

SOMPOホールディングス株式会社（東京証券取引所に上場）

### (2) 重要な関連会社の要約財務情報

関連会社はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	188,213.85	204,748.41
1株当たり当期純利益金額(円)	49,191.55	61,488.32

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注)2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益(千円)	1,184,778	1,480,946
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,184,778	1,480,946
期中平均株式数(株)	24,085	24,085

# 独立監査人の監査報告書

2024年6月12日

SOMPOアセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 森重俊寛  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 小林弘幸  
業務執行社員

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているSOMPOアセットマネジメント株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの第39期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、SOMPOアセットマネジメント株式会社の2024年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

## 財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

## 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸

表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の中間監査報告書

2024年8月16日

SOMPOアセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 徳 山 勇 樹  
業務執行社員

## 中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているSOMPO世界分散ファンド（安定型）<DC年金>の2023年12月16日から2024年6月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、SOMPO世界分散ファンド（安定型）<DC年金>の2024年6月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2023年12月16日から2024年6月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

## 中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

## 中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性

及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは監査の対象には含まれていません。

# 独立監査人の中間監査報告書

2024年8月16日

SOMPOアセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 徳 山 勇 樹  
業務執行社員

## 中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているSOMPO世界分散ファンド（安定成長型）〈DC年金〉の2023年12月16日から2024年6月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）〈DC年金〉の2024年6月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2023年12月16日から2024年6月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

## 中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

## 中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性

及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは監査の対象には含まれていません。

## 独立監査人の中間監査報告書

2024年8月16日

SOMPOアセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 徳 山 勇 樹  
業務執行社員

## 中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているSOMPO世界分散ファンド（成長型）<DC年金>の2023年12月16日から2024年6月15日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、SOMPO世界分散ファンド（成長型）<DC年金>の2024年6月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2023年12月16日から2024年6月15日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

## 中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

## 中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性

及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは監査の対象には含まれていません。